

の滞納整理の計画をどう考
えているのか。

答弁(収納課長)

滞納対策として、コンビ
ニ納付の充実など納税しや
すい環境づくりと引き続き
西尾張地方税滞納整理機構
【多】に参加するなどし徴収
の強化を進め、今後とも納税
意識の向上を図っていく考
えである。

23年度より市税の収入
未済額の縮減を図るた
め、県と市町村が連携して積極
的な滞納整理を行う組織。(参
加市町村：弥富市、一宮市、津
島市、稲沢市、愛西市、あま市、
大治町、蟹江町、飛島村)

質疑(那須議員)

(1) 防犯灯、年間100箇所程
度の取替えでは、市内全て
の更新に5年かかる、予算
を増額するべきではないか。
(2) 市子ども・子育て会議
の具体例は。



27年4月施行予定の「子
ども・子育て支援新制
度」に関する事業計画の策定・進
捗管理などについて、保護者の方
を含む子ども・子育て支援の当
事者などの意見を聴くための会
議であり、本市の子どもや子育
て家庭の表情を踏まえて施策を
実施していくことを目的としてい
ます。

答弁(防災安全課長)

(1) 今後、適切な更新がで
きるよう、来年度の当初予
算の増額を行っていく。

答弁(児童課長)

(2) 児童クラブの年齢拡
大、保育所における一時保
育などの計画、実施状況の
調査審議などを行う。

質疑(三宮議員)

(1) 国保特別会計、24年度
決算を見ると、値上げしな
くても十分やっていけたの
ではないか。

(2) 国保や介護の減免制度
がほとんど利用されていな
い状態についてどうか。

答弁(市長)

(1) 一般会計からも繰入金
をし、また、基金も底をつ
いてきた状況。高齢化社会
が進むなか国保運営が安定
していくため、一定の基金
は持つべきだろうという中
でご理解いただきたい。

答弁(介護高齢課長)

(2) 今後、有効な周知の方
法を新年度に向け検討して
いく。

討論

反対討論(三宮議員)

国民の懐、市民の暮らし
の向上を根本とした施策へ
の転換をこのまちでできる
ことを強めながら、国・県
の政治を変えるための働き
をすることを強く求め、反
対する。

※三宮議員は、一般会計決算、
国民健康保険・後期高齢者医療・
介護保険・農業集落排水事業・
公共下水道事業特別会計決算に
ついて反対討論を行いました。

採決

○一般会計、国民健康保険・
後期高齢者医療・介護保険・
農業集落排水事業・公共下
水道事業特別会計
賛成起立14人で原案可決
反対2人(三宮、那須)
○土地取得特別会計
全員賛成で原案可決

議員定数を削減 18人から16人に改正

行財政改革及び社会情勢
の変化に伴い、次の一般選
挙から定数18人を16人に改
正するものです。

質疑

堀岡議員から「発議に
至った経緯は」、那須議員
から「この発議は市民から
の声なのか、議員が市民感
情はこうだろうと思ってい
るか」、佐藤博議員から「賛
成議員のなかで前回反対の
立場だった議員への今回の
見解は」、伊藤正信議員か
ら「今、議会として何本も
ある条例を検証するなど大
きな役割を持つているがそ
のことについてどうか」な
どがありました。

討論

反対討論(堀岡議員)

市民に見える議会、議員
活動となる道筋をしつかり
と市民に示した上で、民意
をくみ取り、定数削減等の
問題を判断していくのが筋
ではないかと強く思い、反
対する。

賛成討論(平野議員)

議員数が削減された分、
議員は一人一人がさらなる
レベルアップをして、市議
会として市民の付託に応え
ていかなければと思ひ、賛

成する。

反対討論(三宮議員)

みんなの意見が反映され
るまちにしていくという立
場なら、18人の議員定数を
守ることが一番、少なくとも
も16人にすることよりもは
るかに大事なことだと思
い、反対する。

採決

賛成起立11人で原案可決
反対6人(三宮、伊藤(正)、
炭電、堀岡、那須、早川)

緊急質問

9月20日、本会議最終日
に佐藤博議員が緊急質問
を行いました。

その内容は、6月定例会
で可決された一般会計補正
予算の内、新庁舎建設事業
関連予算として計上された
土地購入費と物件移転補償
金の支出をしないよう求める
住民監査請求に対し、監査
委員から請求要件を満たさ
ないため却下とした結果につ
いて問うものでありました。

質疑

質疑(佐藤博議員)